

記憶を呼び覚ます“和太鼓の音”を  
さまざまな人に聴いてほしい



## 西田 洸

和太鼓奏者／にしだひかる

profile●3歳より千葉市で活動する大塚太鼓かずら会に所属し和太鼓に触れる。高校時には桜林高校和太鼓部で2度全国大会出場。大塚太鼓かずら会としては、モスクワ公演に参加、ジュニアコンクール全国大会出場。2020年より東京を拠点に活動する和太鼓暁に所属しプロ奏者として活動を開始。2023年に和太鼓童座を創立し、現在はチームと個人での演奏活動を続ける。2024年第22回千葉市芸術文化新人賞奨励賞、みちのく大太鼓コンテスト優秀賞(2位)を受賞。

3歳から変わらず和太鼓愛を持ち続け、さまざまな人に演奏を聴いてもらうことを目的に演奏活動を続ける西田さんに、和太鼓の魅力や目指すことなどを伺いました。

和太鼓を始めたきっかけと、プロとして活動するようになるまでの経緯を教えてください。

3歳の頃に連れて行ってもらったプロの和太鼓のコンサートで、ずっと演奏に聴き入っていたことがきっかけです。そこから地元の大塚太鼓かずら会で20年以上和太鼓を習っていました。その後、かずら会の解散を機に、所属した東京の和太鼓暁では、演奏会やイベント、アーティストの伴奏など、プロとしての活動を続けてきましたが、昨年、千葉市で和太鼓童座というチームを立ち上げ、暁は今年3月に退団しました。童座では個人活動も自由にできるように、僕は主宰という形で、演奏の機会を作り演奏会の準備などをつつ、和太鼓奏者としても出演しています。

現在は、主にどんな活動を行っていますか？

童座としては、主に地域のイベントでの演奏や学校公演などを行っており、今年4月に自主公演も開催しました。個人としては、チームでの演奏会やイベント等の演奏活動のほか、毎年各地で行われる大太鼓1人打ちの大会にも参加しています。今年は、みちのく大太鼓コンテストで優秀賞(2位)を受賞しました。また、児童支援施設で子どもたちに和太鼓の楽しさを教えたりもしています。来年の2月1日に、千葉市生涯学習センターで「西田洸 和太鼓コンサート～水光ノ音～」を開催します。4月には、童座のコンサートも開催を予定しています。

西田さんが思う和太鼓の魅力と、音楽家としてのセールスポイントを教えてください。

母親の胎内にいるときに聞く心音に似ている和太鼓の音は、心地よさや安心感を感じる「命の音」と言われています。そんな心地よい音が、初めて打つ人でも出せるということも大きな魅力だと思います。鑑賞する側としては、演奏自体を楽しむ以外に、奏者同士が合図を送り合ったりアイコンタクトや笑顔でエールを送ったりする、ステージ上のコミュニケーションも楽しんでいただけるのではないのでしょうか。

和太鼓には、大太鼓や長胴太鼓、締太鼓など種類がありますが、一通り叩けるのが自分の強みです。中でも大太鼓は、体格を生かしたダイナミックな演奏が持ち味です。演奏をするときには、聴き手に届く時の音が最良になるように意識しています。また、演奏会は、お客さんが飽きずに楽しめるように、曲順や演出などを考えています。

音楽活動を続けてきた中で特に印象に残っているエピソードはありますか？

演奏を聴いた年配のお客さんが、僕の手を握って泣きながら「ありがとう」と言ってくださったときには、自分たちの演奏がその人の人生のなかでどう響いたのかと考えさせられました。「戦争で亡くなった兄が和太鼓を叩くのを観るのが好きだった」と言われたこともあります。和太鼓の演奏は、聴く人の記憶を呼び覚まし、また新しい記憶として残っていく。そんなふうに感じています。

音楽家として今後チャレンジしたいことや目指すことは何ですか？

まず、和太鼓の同時演奏者数ギネス世界記録の「千人太鼓」に挑戦したいです。それから、全国の憧れのチーム演奏を生で聴いて演奏者と話して吸収し、今後の演奏に活かしたいです。ほかの和太鼓奏者やチームとのつながりを増やして、サポートし合うこともやりたいことのひとつです。もちろん、演奏をもっともっとさまざまな人に聴いてもらうことと、大会で大太鼓日本一になることも目指すことです。

読者のみなさんにメッセージをお願いします。

和太鼓童座は、年齢や障がいの有無や職業や国籍やあらゆるものを問わず、とにかくさまざまな人に和太鼓の演奏を聴いてほしいという思いで、なるべく無料で演奏活動をしています。自分たちの演奏を聴いて、元氣ややる気が出たり、前に進むきっかけになったりしてもらえたら、それが演奏する意味だと思っています。童座や自分の演奏に限らず、太鼓の音が街のどこかで聞こえたら、ぜひその演奏元を探してみてください。僕の人生が3歳で変わったときのように、あなたの人生も変わるかもしれません。そしてそこで僕を見かけたら、声をかけてください。どこかでお会いできることを楽しみにしています。